



Well・Beingをめざして

校長 大地本央仁

学校評価について（学校関係者評価委員会）

本年度の第3回学校関係者評価委員会を開催しました。学校が行った自己評価（生徒・職員の評価や保護者の皆さまからいただいた評価）とその学校評価を分析したものを5名の評価委員の皆さまにご覧いただき、貴重な意見をまとめていただきました。

以下に、学校関係者評価委員会でのご意見や学校での分析など、今年度は、項目ごとに概要を掲載します。考察は、評価委員の方々に考察していただいたものを簡単にまとめたものです。

◆確かな学力の育成

中期目標：生徒が主体的に学習に取り組む態度を高めるため、わかる授業を展開する。

取組

TT指導や支援員の活用により、きめ細かな指導を実施。

教材研究に努め、ワークシートや資料の工夫、ICTの有効活用を図る。

家庭学習の充実を図るために課題やプリント・副教材の演習問題を提示し、実施の確認や評価を行う。

自己評価

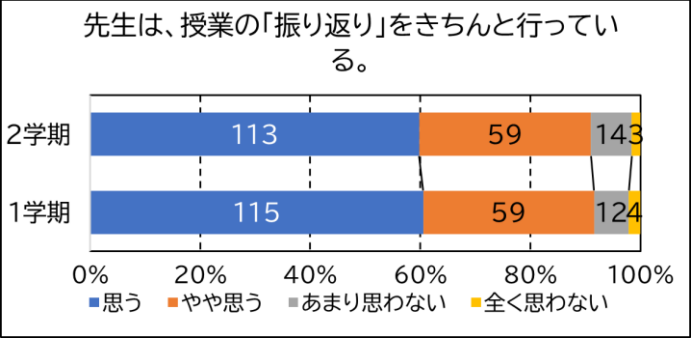
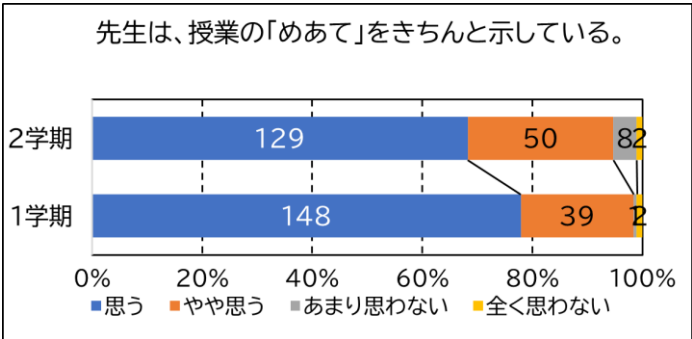
生徒の肯定的な評価が高く、「先生は授業のめあてを示している」「先生は授業の振り返りを行っている」に対して肯定的な評価が約95%、約91%。

しかし、「めあて」の提示については1学期から2学期にかけて評価が下がっているため、定期的な確認が必要。

考察

生徒の主体的な学習を支えるために、ICTの活用や「めあて」と「振り返り」のセットでの実施が重要。

生徒が理解しやすい方法を分析し、学びの意味や価値を考えられるようにすることが必要。



◆人権・同和教育の推進

中期目標：差別や偏見を許さない人権感覚と実践力を養う。

取組

人権集会や講演会を通して、生徒が考える場を設定。

身近な生活の問題から自分や周囲の人の人権について考える時間を設定。

学習テーマを生徒の実態に応じて設定し、意見交換の場を設ける。

自己評価

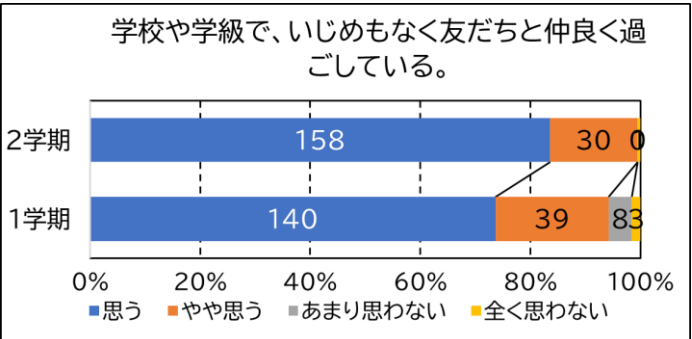
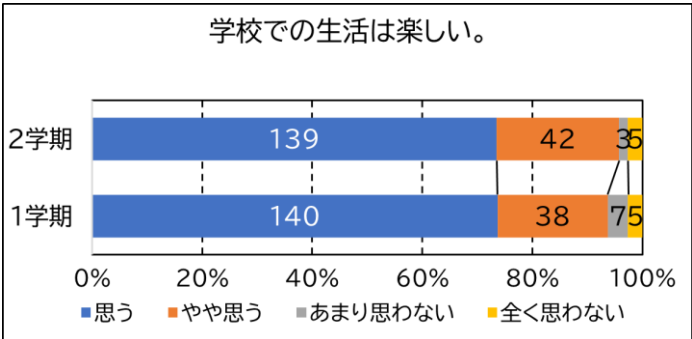
外国人の生活や交流についての講演が有意義で、多文化共生社会に生きる力を育成。

生徒が外国人との交流活動に積極的に参加したいという意識をもつようになった。

考察

異なる文化や習慣を知ることの重要性を認識し、今後も多様な視点から人権について考える場を作る。

日本の文化や歴史を学び、他人にも自分にも優しい生徒を育てることが重要。



◆「個別最適な学び」「協働的な学び」の推進

中期目標：思考力・判断力・表現力の向上を目指す。

取組

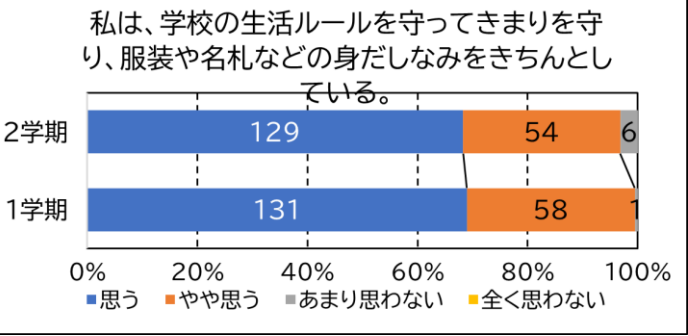
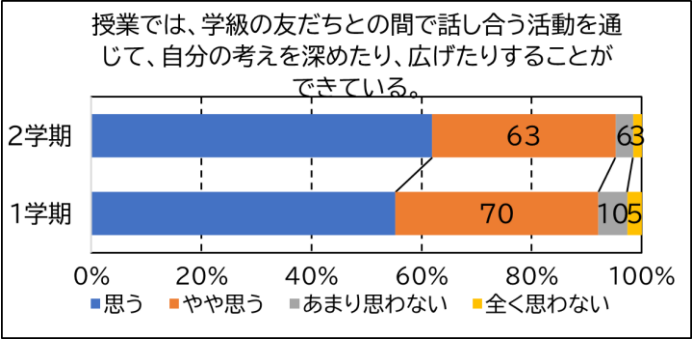
各教科で生徒が協働しながら学ぶ授業の題材、展開、指導の工夫。
ICT 機器の活用や「協調学習」の実施。

自己評価：

ICT 活用の授業実施割合が増加し、生徒の肯定的な意見が多い。
1・2 年生の生徒の 92％が協働的な学びに肯定的。

考察

ICT は手段の一つであり、目的と手段が入れ替わらないように注意が必要。
協調学習の継続的な取組が生徒の思考力や判断力の向上に寄与している。



◆生徒指導の充実

中期目標：社会規範を遵守する態度を育成する。

取組

生徒会と連携し、望ましい生活習慣の定着を図る。
情報モラルについて家庭への情報提供を行う。

自己評価

挨拶や靴揃えの習慣が定着している。
ネットトラブルの認知件数が減少。

考察

基本モラルの重要性を生徒にわかりやすく伝えることが必要。
保護者の協力を得て、家庭内のルール作りを強化することが重要。

◆ふるさと・キャリア教育の推進

中期目標：将来に生きる大きな夢や希望を育む。

取組：

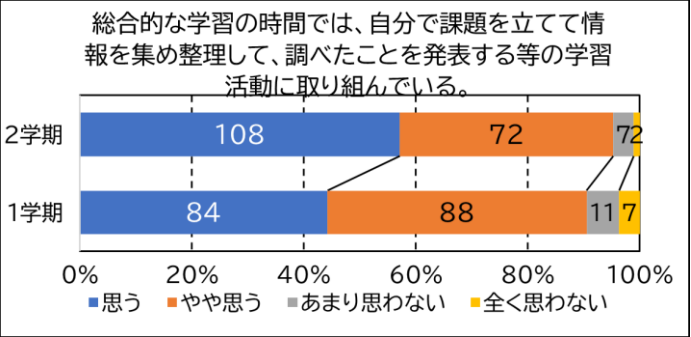
地域の教育資源を活用し、各学年で系統立ったふるさと・キャリア教育を推進する。
地元企業の訪問や地域課題探求活動を実施。

自己評価：

地元企業の訪問や地域課題探求活動が評価される。
生徒が地域の魅力や課題を理解し、自分の将来と関連させて考えることができた。

考察

郷土愛を育むための取組が重要であり、今後も継続した取組を望む。
地域の第一次産業や職人の働き方も知る機会を提供することが必要。



◆学校安全の推進

中期目標：安全で安心な危機管理体制の確立に努める。

取組

危機管理マニュアルの改善と安全点検の実施。
食物アレルギー対応委員会の組織。

自己評価

危険箇所の修繕が進んでいる。
安全点検の成果が見られる。

考察

綿密な安全対策と危機管理対応が必要。
生徒や保護者にも危険意識をもってもらい、協力を得ることが重要。

◆体力の向上

中期目標：生涯に渡る健康なライフスタイルづくりを推進する。

取組

体育的活動の推進と家庭での健康・体力づくり。
授業中に家庭でも取り組める運動例を紹介。

自己評価

多くの生徒が運動に意欲的に取り組んでいる。
昼休みにも校庭や体育館に集まる生徒が多い。

考察

生徒が継続して運動に取り組める仕組みの構築が期待される。
運動系の自己管理アプリとの連携が有効。

◆校内研修の推進

中期目標：授業力の向上に努める。

取組

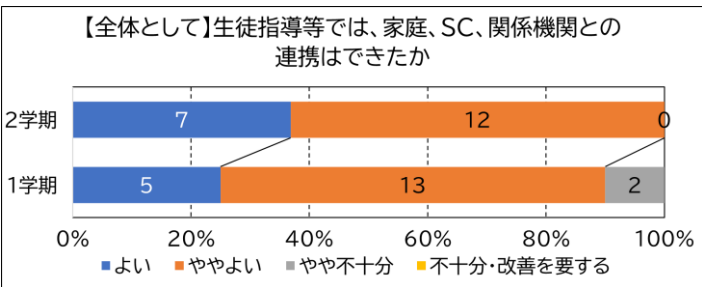
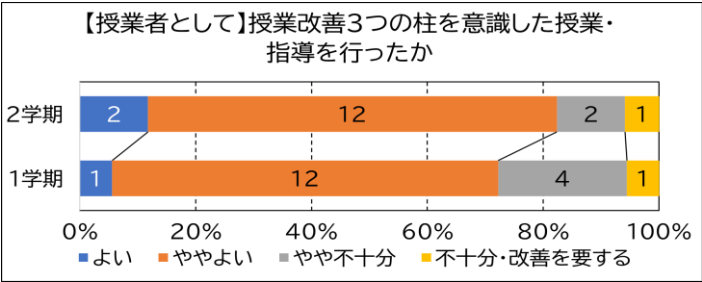
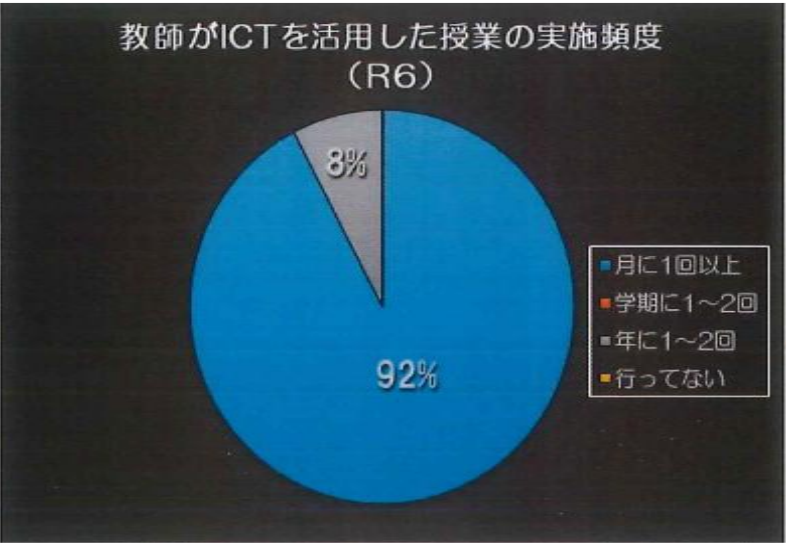
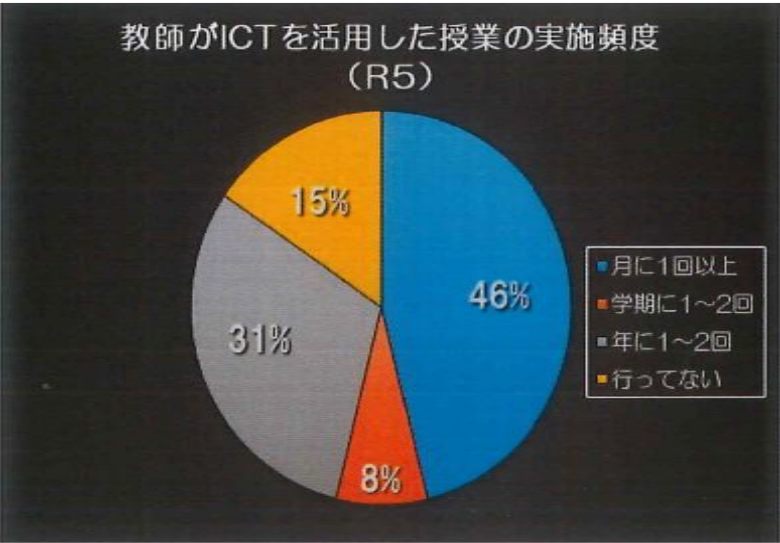
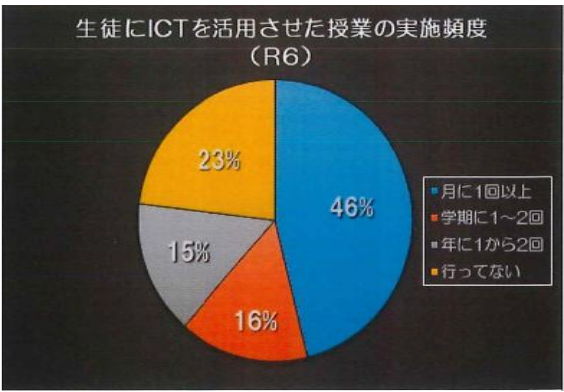
校内研修の充実と ICT を活用した授業の実施。
校内研究授業を計画的に行い、教職員同士が学び合う機会を設ける。

自己評価

ICT を活用した授業の提案が行われた。
授業改善の三つの柱を意識した授業を行った教員が 80%を超える。

考察

効果的な提示方法の検討が必要。
授業の質や質問への回答を含め、授業改善の 3 つの柱を意識した授業づくりを組織でフォローする仕組みが重要。



◆校内・特別支援体制の充実

中期目標：個別の教育ニーズに対応した指導・支援を充実させる。

取組

個別の指導計画及び教育支援計画の作成と遂行。
諸検査や複数の教員での観察を行い、実態把握を行う。

自己評価

支援体制が整備されている。
特別支援学級および通級指導教室利用者の生徒に対する支援が充実している。

考察

教職員間での意見交換や情報共有の機会が重要。
複数名のチームで支援に取り組む体制を整えることが必要。

◆関係機関との連携、他校との交流の推進

中期目標：関係機関と積極的な情報交換を行い、連携を強化する。

取組

医療、福祉等の関係機関との連携。
近隣の特別支援学校との情報交換。

自己評価

関係機関との連携が進んでいる。
支援に対する生徒の反応を見ながら、支援方法を適宜変更している。

考察

生徒や保護者の意見を取り入れた柔軟な支援が重要。
関係機関との連携を密にし、適切な支援を提供することが必要。

◆安全対応能力の向上

中期目標：危機回避能力、危機対応能力の向上を目指す。

取組

避難訓練や交通安全教室の実施。
間バイトについての注意喚起。

自己評価

生徒の安全意識が向上している。
避難訓練の重要性を理解し、真剣に取り組んでいる。

考察

継続的な避難訓練と危機管理マニュアルの確認が重要。
自転車の交通安全教室は警察と連携して実施することが必要。

◆学校保健及び食育の推進

中期目標：生徒の自己健康管理力の向上を図る。

取組

朝食チャレンジや栄養教諭との連携。
長期休業中に家庭で実践する場を設定。

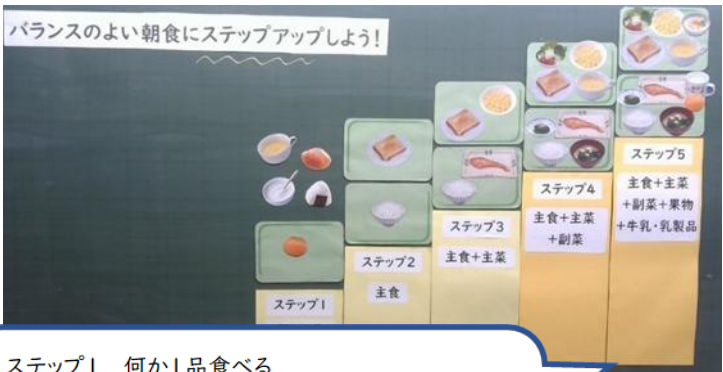
自己評価

朝食摂取の改善が見られる。
バランスの良い朝食を食べる生徒の割合が増加。

考察

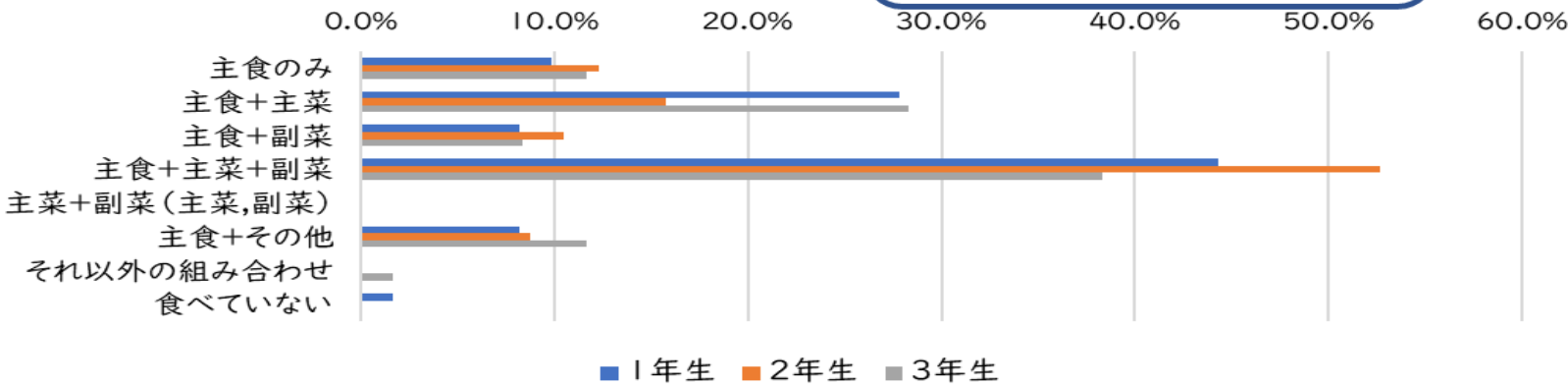
生徒自身が主体的に取り組めるような工夫が重要。
保護者の協力を得て、家庭での実践を促進することが必要。

バランスのよい朝食へのステップアップ法



- ステップ1 何か1品食べる
ステップ2 主食
ステップ3 主食+主菜
ステップ4 主食+主菜+副菜
ステップ5 主食+主菜+副菜+牛乳・乳製品・果物

夏休み



◆情報公開の推進

中期目標：学校教育の内容や計画を広く情報発信する。

取組

学校だよりやホームページの更新。
メール配信システムを活用し、ペーパーレス化を図る。

自己評価

情報発信が充実している。
紙媒体での配信を減らすことができた。

考察

紙媒体との兼ね合いを図りつつ、配信システムの改善が必要。
保護者への定期的なアンケートを行い、情報発信の工夫を続けることが重要。

◆学校間の円滑な連携・連動の推進

中期目標：異校種間の連携・連動を図り、生徒の人間力の向上を目指す。

取組

小中の連携・連動を密にする。
小学生の授業・部活動体験を計画・実施。

自己評価

小中の連携が進んでいる。
情報モラル講演会を通じて共通理解を図った。

考察

特別支援教育コーディネーター部会の開催が重要。
オンライン会議などを活用し、情報共有の機会を増やすことが必要。

R6年度 月別貸出集計表

集計期間 2024/04/01~2025/03/31

(単位:冊)

利用者名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中学1年1組	104	49	39	85	3	15	30	15	26				366
中学1年2組	133	117	100	94	19	48	75	63	68				717
中学1年[合計]	237	166	139	179	22	63	105	78	94	0	0	0	1,083
中学2年1組	74	91	61	97	31	58	56	61	90				619
中学2年2組	38	37	41	76	14	58	58	42	91				455
中学2年[合計]	112	128	102	173	45	116	114	103	181	0	0	0	1,074
中学3年1組	32	55	56	86	0	45	32	40	52				398
中学3年2組	7	23	8	46	2	19	4	14	12				135
中学3年[合計]	39	78	64	132	2	64	36	54	64	0	0	0	533
【総合計】	388	372	305	484	69	243	255	235	339	0	0	0	2,690

◆学校図書館・読書活動の推進

中期目標：多様な価値観に触れ、表現力や想像力を育む読書活動を推進する。

取組

図書館利用増を目指し、読書推進活動を充実させる。
1年生に図書館の活用方法を指導し、自主的な読書の定着を図る。
長期休業前には無制限貸出を実施し、図書スペースの展示を工夫。

自己評価

貸出冊数の目標を達成し、評価を「A」とする。
1年生の貸出冊数が多く、学年が上がるにつれて減少する傾向がある。

考察

図書館の利用促進のための工夫が評価されるが、個人での貸出冊数の目標設定も検討。
教科全体での図書の活用方法を喚起し、環境づくりに取り組むことが重要。